

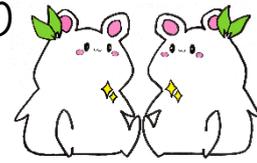
令和4年5月2日



光が丘第二中学校 学校だより

TEL 3976-9202 FAX 5383-3608

http://www.hikarigaoka2-j.nerima-ky.ed.jp



豊かな心の育成を実現していく小中一貫教育

校長 山田 美鈴

令和4年4月5日付けの「光が丘新聞」。開いてみるとページ一面分に本校と光が丘春の風小学校との小中一貫教育について大々的に掲載されていました。改めて「光が丘新聞」が地元根付いている広報誌であるということを実感し、喜びとともに身の引き締まる思いがしました。

「豊かな心の育成を実現していく小中一貫教育の取組」～児童生徒一人一人の幸せを求めて～を研究主題に、昨年度に引き続き今年度も練馬区教育委員会教育課題研究指定校として、光が丘春の風小学校とともに全教職員が一丸となって研究を進めています。

練馬区教育委員会を目指す小中一貫教育は

- *授業改善による学力、体力の向上
- *連携指導による豊かな人間性、社会性の育成
- *滑らかな接続による安定した学校生活

の3つの視点です。

そこで本研究では、道徳・特別活動（学級活動）、特別支援教育の3つの分科会に分かれて「めざす15歳の姿」をイメージしながら研究を進めています。

豊かな心の育成 = めざす15歳の姿 のイメージ は以下の通りです。

- ①自分で課題を見つけ、自分で考え、解決していく人
- ②自分の考えを言葉などで表現し、伝えられる人
- ③思いやりの心を言葉や行動で相手に伝えられる人
- ④自分から元気にあいさつできる人
- ⑤かけがえのない自分を大切にする人
- ⑥夢や希望をもってチャレンジしていく人



令和5年2月17日にはその成果を区内の先生方にお伝えする予定です。

校内には各学年フロアに年間を通しての道徳、学級活動の追跡が一目でわかるように表にしています。また1年昇降口には小中一貫教育研究用の掲示板を設置し、両校での研究の様子を写真等で掲示しています。出身小学校を問わず小学校での6年間を我々教職員が学んでいくことは、研究主題に定めた生徒の幸せにつながるものと確信しています。

研究はもとより全教職員がチームとなって、子どもたちの健やかな成長を見守っていきけるようさらに交流活動も深めてまいりたいと思います。

保護者の方々や地域の皆様のお力添えもいただきながら、義務教育9年間の学びが滑らかに進行していけるよう尽力してまいります。